



いよいよ明日が運動会。まさに、今が頑張りどころですね。

## しなやかさの本質は

早速ですが、問題（右図を参照）です。

ここに3つの輪ゴムがあります。どれが最後まで切れない輪ゴムでしょうか。

- ① ただ置いておく。（1週間に1回だけ引っ張る）
- ② 伸ばしっぱなしにしておく。
- ③ 縮めたり伸ばしたりを永遠に繰り返す。

正解は、③。縮めたり伸ばしたりを繰り返している輪ゴムが、圧倒的に切れない輪ゴムであることが、実験結果で明らかになりました。子どもたちにも聞いてみたのですが、どうやら学年が上がるごとに正解率が高くなる傾向にあります。6年生の正解率は、74%ほど。1年生は、①ただ置いておくが一番人気でした。

ここで考えたいのは、縮めたり伸びたりを繰り返すことの意味です。なりたい自分になるためには、努力が欠かせない。ただ、努力はやみくもにずっと続けているわけにはいかないもの。疲れ果ててしまいます。逆に、努力を怠るとなりたい自分は間違えなく自分から遠のいてしまう。時には汗びっしょりになって頑張ったり、時には自分の好きな漫画を読んだりゲームをしながら休憩したり…。そんなループの中で、成長していくものです。

頭ではわかっているのですが、その塩梅が非常に難しいと、私は常日頃思うのです。

もちろん、その塩梅が分かれば越したことはない。ただ、その塩梅は常に後付けになる場合が多いように感じます。頑張ったのに結果が伴わなわなかったりとか、あの時やればよかったと後悔したりとか。

そういうものなのかもしれません。塩梅なんて、結局はよくわからない。

そんなことを思っているときに、ある本を読んでいると素敵なことが書いてありました。「負けたり、失敗したりうまくいかなかったりと思う瞬間はたくさんあるよね。しかし、本当にそれは負け確定なのか？失敗確定なのか？うまくいかなかった確定か？そんな時は、『勝利（成功）への途中』と考えることにしよう。いつか近い将来、努力を重ねることで、もしかしたら、それは勝てるかもしれないし、成功するかもしれないし、うまくいくこともある。ありうるのだ。そうすると、私の辞書からは失敗の文字は消えてなくなりますよ」

なんと、しなやかな強さが感じられる言葉でしょう。目の前にある出来事は、自分自身のとらえ方次第。しなやかさの本質は、そんなところにあるのかもしれないなあ。

そんなことをしみじみ考えていると、運動会を目前に控えた1年生のお子さんがやってきて、私に高らかな宣言をしていきました。

「余宮先生、わたし、今日からなんでも努力が続けられる人になりたいです！」

子どもたちのしなやかさに、今日も清々しさを感じた次第です。いよいよ明日は運動会！

今日の問題: どれが一番強いかな?  
さいご  
最後まで切れない輪ゴムはどれだろう?  
1週間に一回、ぎゅーってのばします。  
切れたらおわりです。

1 ただ置いておく 2 伸ばしっぱなし 3 縮めたり伸ばしたり

